

廉価な地方道路維持管理 System

by IRI & Image

① IRI による現況調査

道路パトロール・維持作業車の後輪に「IRI プロファイラ」を装備して調査区間を通常走行して一筆データの収集を行う。

▼
野帳と共に調査データを解析部門へ



パトロールカー等によるプロフィール及び画像の収集。専用車は不要

簡単で便利な調査

調査票

作業タスク 調査&補修工事
補修候補

IRIによる維持管理サイクル

プロフィール・画像

② 調査の高速解析

1. 10 区毎の IRI 値を画像に貼り付ける
2. IRI 値と画像を MAP に貼り付ける
3. 損傷の悪い箇所付けをする
4. 補修候補箇所付けをする

調査結果を貼付

予算・工事量

管理水準・保全率

アウトカム



自治体
管理目標
管理水準・保全率
アウトカム(利用者評価)
道路維持管理システム

体得乗り心地で評価

住民＝利用者の役割

- ★税金が無駄なく使われているか?
- ★地域発展のベースとなっているか?
- ★地域全体として平等であるか?

- ①道路特定財源が一般会計に歳入されて公明性が高まり、関心が高まる。
- ②道路利用は「乗り心地」を経験体得しているので補修の評価が容易となる。

乗り心地による住民監視システム

IRIであれば共通の理解が出来る

利用者の体感乗り心地

シミュレーション技術

公開マップ
現況と工事予定

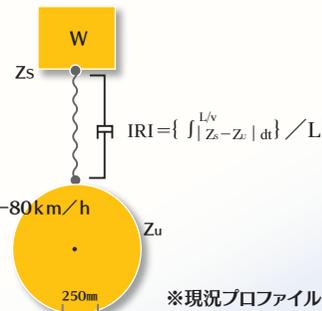
現況・補修場所・時期



- 補修
- 可
- 良好

活用技術は(乗り心地)

2000年 世界道路協会採用
2007年 日本道路協会採用



IRI技術
(乗り心地指標)

※現況プロフィール
PCIによるバーチャルシミュレーション(QCモデル)

維持管理アーキテクチャー